

中野重治展

ふる里への思い、
そして闘い



観覧
無料

平成
28年

10月15日(土)~12月18日(日)

開館時間/火曜~金曜日: 9時~19時、土日・祝祭日: 9時~18時

休館日/月曜日(祝日以外)、祝日の翌日、10月27日(木)

主催/福井県ふるさと文学館(監修) 定道明氏、林淑美氏

協力/石川近代文学館、越前町教育委員会(雨田光平記念館)、県立神奈川近代文学館、
世田谷文学館、中野重治文庫記念坂井市立丸岡図書館、日本近代文学館

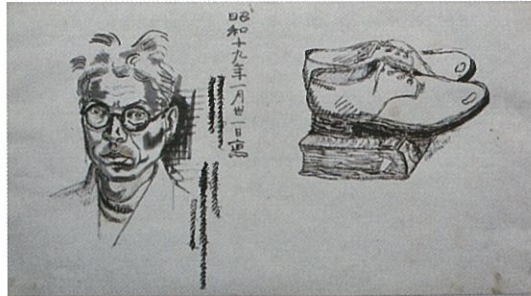


福井県 FUKUI MUSEUM OF LITERATURE
ふるさと文学館



左より原泉、中野重治、長女卯女 提供：日本近代文学館

中野重治は坂井郡高椋村（現、坂井市丸岡町）の農村に生まれ、東京帝国大学へ進学後、プロレタリア文学の新時代を担いました。昭和初期、治安維持法違反で検挙され転向しますが、言論統制の厳しい社会情勢の中でも書き続けることを決意し、「村の家」など困難な時代と向き合った作品を執筆しました。また、戦後には故郷の言葉や暮らしを描いた自伝的小説「梨の花」などの名作を遺しています。本展では、中野重治の故郷福井への思い、そして、戦争や震災など激動する社会の中で、家族とともに歩んだ文学者としての生き方を紹介します。



中野重治 自画像

日本近代文学館所蔵



室生犀星から贈られた木彫像
中野重治文庫記念坂井市立丸岡図書館所蔵

その他展示資料

- 中野重治「梨の花」原稿
- 中野重治「たれか故郷を思わざる」原稿
- 中野鈴子遺言
- 中野重治 日記（初公開資料含む）
- 中野重治「小説の書けぬ小説家」原稿
- 中野重治「『文学者に就て』について」原稿
- 福井地震関連資料（中野家文書）など



原まさの宛て中野重治獄中書簡

県立神奈川近代文学館所蔵

関連イベント

文学カフェ 中野重治 肉筆原稿と書簡

要申込

日 時：平成28年10月15日(土)
10:30～12:00

会 場：県立図書館研修室

定 員：30名

講 師：林淑美氏（立教大学教授）

参加費：250円（飲み物代）

中野重治が家族へ宛てた肉筆の手紙など展示資料を取り上げ、そこに込められた思いを解説します。また、家族や故郷とかかわりの深い中野重治の代表作「村の家」を当時の社会背景を交えて読み解きます。

昭和文学キネマ

～戦争とプロレタリアの文学～

入場
無料

会 場：ふるさと文学館 映像ルーム

時 間：13:30～

定 員：40名（当日先着）

12時より文学館カウンターで整理券を配付します。

10月23日(日)「蟹工船」

原作/小林多喜二 監督/山村聰 主演/山村聰

11月 6日(日)「太陽のない街」

原作/徳永直 監督/山本薩夫 主演/日高澄子

11月20日(日)「火垂るの墓」

原作/野坂昭如 監督/高畑勲

12月 4日(日)「真空地帯」

原作/野間宏 監督/山本薩夫 主演/木村功

※プログラムは変更される場合があります。

文学からくり箱展 ～ムットーニの世界～

同時
開催

平成28年

10月15日(土)～12月18日(日)

アーティスト武藤政彦の愛称から名付けられた自動人形作品「ムットーニ」は、

人形や舞台の動き

に、光と音楽が組み合わせられた小さなストーリーボックスです。夏目漱石「夢十夜」、萩原朔太郎「猫町」、中島敦「山月記」、村上春樹「眠り」など文学をモチーフにした作品を中心に展示します。



「おそろしいものが」

福井県 FUKUI MUSEUM OF LITERATURE ふるさと文学館

〒918-8113 福井県福井市下馬町51-11
TEL：0776-33-8866/FAX：0776-33-8861
E-mail bungakukan@pref.fukui.lg.jp
HP <http://www.library-archives.pref.fukui.jp/>



アクセス

フレンドリーバス(無料) ● 福井駅東口バスターミナルから約15分

路線バス ● 福井駅西口交通広場5番のりばから市内バス(62系統・一乗谷東郷行き)約12分

自動車 ● 北陸自動車道福井インターより約15分 国道8号線板垣交差点を東に折れ約900m

* 12月11日(日)は若狭高浜駅など嶺南の各市町より文化施設無料送迎バス「フレンドリーアート号」が発着します。

※キリトリ※

文学カフェ
中野重治

日時：平成28年10月15日(土) 10:30～

ご氏名

飲み物 コーヒー 紅茶

電話番号